

有名人を紹介しよう

1 この活動のねらい

実際のコミュニケーションの場面で、だれかを紹介するということは自己紹介の次によく行われます。ライティングノートの手軽さを利用して、2年生や3年生でも紹介する場面を作ること、定着に時間のかかる三単現のSや現在完了形などを正しく使えるように関連付けて指導することをねらいます。また、有名人であれば、友達が書いた英文をお互いに参考にすることもできます。

2 活動例

自己紹介を行う活動

まず動詞の形に変化のない自己紹介で慣れさせます。

教師の指示例

「『好きなこと、持っているもの、スポーツ、一日の生活』などのテーマから一つ選んで自己紹介文を書きましょう。」

自己紹介を参考に、有名人を紹介する活動

友達紹介の前にだれでも知っている有名人や身近な先生が最初に書かせるテーマとしては取り組みやすいでしょう。できたらクイズとして友達や先生に読んでもらうのもよいでしょう。

教師の指示例

「サザエさん一家を紹介しましょう。」

「身近な先生を紹介しましょう。」

「カツオの一日を紹介しましょう。」

一文付け加える活動

生徒作品例のように一文付け加える活動も、まとまった英文を書かせるよい機会になります。例えば、カツオの一日を紹介するときに、“I get to school at eight, but he is always late.” など自分の一日と比べて書くことなどもできます。

3 生徒作品例

作品1は、3年生で取り組んだ「サザエさん一家を紹介しよう」の例です。代名詞 her を加えることだけを修正して、動詞の修正はしていません。三単現のsは修正するよりも使うことで慣れていくやり方がよいと思われます。

作品2は、先生の紹介例です。ライティングノートをさらに半分にして、左側に紹介文を書かせ、次の時間に、それぞれの英文に対して一文ずつ書き加える活動に取り組みました。

作品1

Isono familys get up at 6:00.
Fune makes breakfast, Sazae helps her.
Maybe Katsuo get up late.
Katsuo and Wakame come back home at 5:00,
Wakame finish her homework soon.

作品2

This is [redacted]
She plays kendo. → She (is) very well.
She lives in Saga city. → Because she get up early.
She likes pigs. → She has a pig stamp.
I think she likes red. → Because she has red T-shirt.
She has a black car. → It is very cool.
She is thirty. → But she looks young.
She is smaller than [redacted].
Smaller? Really!?

Very Good!
Very Good!